

東海道新幹線新駅対策特別委員会会議録

令和3年12月6日

寒川町議会

出席委員 天利委員長、山田副委員長
小泉委員、山上委員、橋本委員、横手委員、岸本委員、黒沢委員
佐藤（一）議長
説明者 廣田拠点づくり部長、臼井倉見拠点づくり課長、川部主査、小宮主査
案 件

1. 新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等について
(拠点づくり部倉見拠点づくり課)
2. その他

午前9時00分 開会

【天利委員長】 定刻になりましたものですから、これから東海道新幹線新駅対策特別委員会を開催いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の案件は、次第のとおり、その他を含めまして2件になりますので、よろしくお願いいたします。
では、執行部が入室するまで暫時休憩といたします。

【天利委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

それでは、案件1、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等につきまして説明を求めます。

廣田拠点づくり部長。

【廣田拠点づくり部長】 おはようございます。拠点づくり部倉見拠点づくり課より事務経過についてご報告させていただきます。報告につきましては、臼井課長より行いますので、よろしくお願いいたします。

【天利委員長】 臼井倉見拠点づくり課長。

【臼井倉見拠点づくり課長】 おはようございます。それでは、前回9月6日の特別委員会以降の経過につきましてご報告させていただきます。経過については、タブレット01新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてに基づきご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、10月7日に、まちづくりニュース第38号を地元関係者に向けて配布いたしました。本来であれば5月20日から配布する予定でしたが、特措法に基づくまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出されたことを受け、幹事の皆様への配布の協力依頼を控えておりました。その後の緊急事態宣言解除を受けて配布の願いをしたものでございます。委員の皆様にはタブレットを通じて配信済みですが、参考としてPDFファイル2ページ、3ページに資料1としてつけております。後ほどご覧いただければと存じます。

続きまして、10月13日でございます。県と平塚市、寒川町で構成するツインシティ整備調整協議会が書面による会議で開催されました。役場内にあります県の寒川駐在員事務所における本年度の事業実施

状況及び予定や来年度の予定の情報共有でございます。

続きまして、10月20日には、県環境共生都市課と寒川町で構成するツインシティ倉見地区まちづくり検討会を新たに設置しました。設置の目的としましては、県と町で県土全体のバランスある発展を導く核とする南のゲート形成に向け、新駅の誘致地区であるツインシティ倉見地区のまちづくりの進め方を検討、整理し、共有する組織として設置したものでございます。検討会での取扱い、内容といたしましては、倉見地区のまちづくりに関連する事項について、県と町で調整共有が必要な事項を取り扱うこととなっております。町としては、今後まちづくりの基礎ができてくれば、財源に関する検討というのも具体的な項目として出てくると考えており、この検討会の項目にのせていければと考えております。また、この検討会とは別になりますが、今後南のゲートの在り方として、県行政機能の設置といったことも県に働きかけていきたいと考えております。

続いては、同日夜に地元組織である東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会の今年度2回目となります役員会を北部文化福祉会館で開催しております。後ほどご説明します第2回の協議会幹事会開催に向けての事前確認でございます。合わせて今後実施を予定しているブロック協議会の進め方について内容の確認をいたしました。

続きまして、11月22日には、期成同盟会によるJR東海への要望活動が実施されました。例年は同盟会総会直後に実施されておりますが、昨年に引き続き新型コロナ感染拡大状況や日程調整の関係で、ここで実施されたというものです。当日の要望書、出席者については、PDFファイル4ページ、5ページに資料2をおつけしております。東海旅客鉄道株式会社からは、巢山副社長をはじめ4名の方、同盟会からは、小坂橋神奈川県副知事をはじめ7名で、木村町長が同席しております。当日のやり取りについては非公開となっております、詳細は分かりませんが、木村町長からは、JRとの技術相談については引き続き応じてほしい旨の発言をさせていただいております。いずれにしましても、この状況下で要望を受ける機会を持っていたことについては、町としても好意的に受け止めているところでございます。

続いては、11月22日から11月28日にかけて、同盟会主催の絵画コンクールの作品展示が町民センターで催されました。PDFファイル6ページ、7ページの資料3には、寒川の児童の入賞作品一覧をおつけしております。なお、表彰式につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。例年行っております啓発活動でございますが、将来新駅が実現した際の世代となる子どもたちに新駅誘致の取組について知っていただく機会として大きな効果があると考えたとともに、新幹線と新幹線がもたらす新しいまちの将来の姿を「夢はこぼ新幹線・私たちの未来のまち」というテーマで1枚の絵に表したものでございます。

続きまして、11月25日には、地元連絡協議会の第2回幹事会が北部文化福祉会館で開催されました。当日は今後の活動予定について、町内会、生産組合、地元組織など属性別ブロック協議会21団体との進め方、開催への協力依頼などの話し合いをいたしました。ブロック協議会の皆様とは、今後まずは新駅開業までのスケジュール感を共有していただくことを基本とし、将来の土地利用について具現化が図れるよう会員の皆様から意見や判断をしていただけるよう、都市計画の仕組みなど、まちづくりの制度について理解をより深めていただけるような対話の場としてのブロックでの会合を実施していきたいと考えているところであり、協議会幹事の皆さんとともに進めていければと思っております。

幹事の方からは、何をいつまでにするのか計画的なものが必要なのではないかなどのスケジュールに対するご意見、何かないとイメージが湧かない、今後意見を出すためにも図面、絵などを資料として示してほしい、我々に夢を語ってもらいたい、夢を感じさせてほしいなど、まちづくりに対するご意見をいただきました。これらのご意見を受け、今後も地元の皆様と対話を深めていくためにも、スケジュールについては神奈川県と課題の共有を図れるよう進めるとともに、まちづくりについては、視覚的に分かりやすい絵などをお示しし、唐突感のないよう事例研究をベースとしたお話をさせていただき、地元の皆様と情報交換を行い、将来の土地利用について理解を深めていただけるよう努めてまいりたいと考えております。

記載された内容の報告については以上となりますが、今後につきましては、先ほど触れさせていただきましたが、地元の連絡協議会の各ブロックの町内会、生産組合などと個々に意見交換など対話の場を設けてまいりたいと考えております。また並行して、昨年10月に実施いたしました次世代層との意見交換につきましても、新型コロナウイルス感染症の状況にはよりますが、年内に行えないか関係者と調整を図ってまいりたいと考えております。これは、日頃地元説明に際しては、私どもとしては主に地権者の方々を中心にお集まりいただくことが多く、この中でご高齢の方々に向けた情報共有をする機会が多いのですが、やはりこの事業は将来の土地利用について長期にわたる議論が必要と考えており、ご家族を含め将来の中心世代、責任世代の担い手となる方々にもメッセージを発信する必要があると考えております。

今後定めていくツインシティ倉見地区の将来像の検討に必要な情報を共有し、幅広くご意見を伺う環境づくりのためにも、直接の対話の機会を設けるべきと考えており、次世代層との意見交換を実施しているものでございます。

報告については以上となります。よろしくお願いいたします。

【天利委員長】 担当課より説明が終わりました。これより質疑に入りたいと思いますが、皆さん、ご質疑はございますでしょうか。

橋本委員。

【橋本委員】 1点お聞きいたします。絵画コンクール「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」ということで、町民センターでとてもすてきな作品がたくさん掲示されたかと思います。この掲示が終了した後のポスターの使い道というか、そういうのが何か、今後のご予定とかがあればお聞かせいただければと思います。

【天利委員長】 臼井課長。

【臼井倉見拠点づくり課長】 ポスターは、各学校を通じましてお子様にまず返却させていただきます。私どもといたしましては、町のホームページにも、こういったものを載せていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【天利委員長】 橋本委員。

【橋本委員】 ありがとうございます。町のホームページに載せていただけるということで、すごくいい試みなのかなと思っております。先ほどもご意見いただいて、推進していく上での啓発活動の一環にもなるのかなと、もちろんそれぞれ町民の方のお考えもあるかと思うんですけれども、ほかにももし

今後ポスターを、例えば倉見の地域の方にもっと見ていただくとか、あとはいろいろな活用の仕方があるかと思うんですけど、JRの相模線の中で見てもらうとか、そういったいろいろな事例がほかの市町村とかでもあるかと思うんですが、そういった試みとかお考えがあればお聞かせください。

【天利委員長】 川部主査。

【川部主査】 絵画コンクールなんですけど、もともとが同盟会の主催となっておりまして、同盟会の事務局で都市づくりニュースというチラシなどを作って、会員の市町に配布を行って、それぞれの市がまたそれぞれの施設などに配架をしております。

以上です。

【天利委員長】 以前パッカー車か何かで、こういう絵みたいなものを飾っていたというか、寒川かどうか分からないんですけども、そういう事例か何かがあった、新幹線ではないとは思いますが、そういうこともできれば考えていただければということだと思いますので、他にございますでしょうか。

黒沢委員。

【黒沢委員】 幾つかお願いしたいと思いますが、まず、10月20日の倉見地区まちづくり検討会の議題になった県との財源確保の部分が、どこかのタイミングで議題としてのっかっていくだろうというお話がありましたが、地元の皆様だけではなくて寒川町にとっても、財源をどうしていくのかという問題は、これを進めていく上で非常に大きな課題になってくると思いますけど、今の段階でその辺の県の調整の状況を踏まえて、この辺がどのぐらいの段階で正式にテーブルに乗ってくるのか、それから町としては、どのぐらいのタイミングでこれをテーブルに乗っけなきゃいけないというところを、どう捉えているのかお聞かせいただきたいと思います。

それから、要望活動に毎年行っていただいて、今年度についても、こういう状況の中JRさんにその場面をつくっていただいたことに関しては、非常にありがたいというお話がありましたけど、この中で多少なりとも対話がされたと思います。ただ、改めて書面とかで要望書の回答をいただけるのかなとは思いますが、平成30年に、まちづくりの検討に当たって助言を求められれば、それには応じますよとJRに言っていただいて、相当前向きな意見が出たんだと思うんですけど、実際これまでJRが新幹線の請願駅を幾つかやってきた中で、JRの対応として、こういったことをやっていただいたケースというのはこれまであったのかどうか、これは極めてJRの対応としては、現段階ではかなり踏み込んだ対応と捉えていいのかどうか、これまでそういう事例があったのかどうか、その辺を押さえたいとお知らせいただきたいと思います。

それから、11月末に行われた連絡協議会で、今後の各ブロック別の協議会を進めるに当たって、様々なスケジュール感でありますとか、実際にまちづくりするに当たって、こういう機能をというのを含めて、図面とかがあればというお話をいただいたということなんですけれども、実際にどういったものを今の段階で出していけるのか、担当としてはどういうお考えを持たれているのか、様々な当委員会でも研修会を行っていただいて、我々としてもスケジュール感を見ていったときに、現段階でこういう状況になきゃいけないとか、そんなに期間としては十分にあるわけではないというようなことを理解しているわけなんですけども、そういうことを理解していただければ、地元の皆さんとしても、地元として、それから土地を所有している皆さんとして、自分たちとして、どういうことができるのか考えていただける機

会にもなるし、そんなに多く余裕がある事業ではないということが理解されるのかなと思うんですけど、その辺をどのように担当課としては考えていらっしゃるのかお知らせいただきたいと思います。

【天利委員長】 臼井課長。

【臼井倉見拠点づくり課長】 今ご質問いただきました。今後ブロック協議会にどういったものをお示していくのかというところなんですけれども、幹事会の中で、何かないとイメージが湧かない、意見を出すにも図面がということで、お話をいただきました。今後たたき台といたしまして、過去に地元の皆様にお示しさせていただきました図があります。そういった図の中から、まずは駅前に最低限必要なもの、交通広場、取付道路等の案、こういった簡易なものをこちらで2、3事務局で作成させていただきました。そういった中で、他市で行われている事例なども含めましてお話しさせていただきました。皆さんからご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

【天利委員長】 川部主査。

【川部主査】 まず、10月20日に行われた検討会は、まだ始まったばかりでして、実際どういうことをやっていこうかというところまでは、これから話し合いによって進めていくところなんです。財源につきましては、町で考えているスケジュールの中で県にももちろん見せておまして、そういった中で町としては、まちづくりの絵を具体化していくに当たって、最終的には町の財源ではとても賄い切れないところがありますので、それについては県の支援をいただけないかと話しているところで、それについて今県としても拒否している、そういう段階ではなくて、一緒に話ののっていただいて検討しているところでございます。

それと、2点目の要望活動につきましては、平成30年にまちづくりの助言をしていただけるとJRさんから言っていて、それに対して令和元年に第1回目の技術相談を行わせていただきました。今は第2回目の技術相談について、県とどういった内容についてJRさんと話していくか今進めているところでございます。

それと、この発言に対して、JR東海へのこういった要望の中で、私どもの知っている限りでは、他の自治体でそういった発言をされているというのは聞いたことはないもので、町としては、JR東海さんに大分踏み込んだ発言をしていただいたのかなと感じております。

以上です。

【天利委員長】 他にございますでしょうか。

岸本委員。

【岸本委員】 コロナも少し減ってきた中で、地元の組織との会合が開かれつつあるという中で、先ほど地元の中で次世代層を掘り起こしたところで何件か当たっているとお聞きしましたが、それは誰かに頼んでいるということなんですけれども、今具体的に担当課として、こういったところにアプローチしたいとか、今現在役員会、幹事会、ブロック会以外の方々にアプローチするというめどが立っているのかどうか、その辺りについて1点お聞かせください。

【天利委員長】 臼井課長。

【臼井倉見拠点づくり課長】 次世代の方々へのお話かと思えますけれども、まず、私たちといたし

ましては、男性の方、女性の方それぞれ皆様にお話をまずさせていただきたいというようなことを考えております。内容といたしましては、まちづくりのことにつきまして、まずはお話をさせていただければと考えております。

そういった中で、次世代の方は幹事会等にはなかなか出席されませんので、1軒1軒皆様にお話をさせていただきまして、理解を深めていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【天利委員長】 岸本委員。

【岸本委員】 きっと幹事会とかブロック会の方々は、昔は地権者の方のみにまずは説明していきたいということで話を伺っておりましたが、今後は地権者に限らず、倉見並びに周辺の地区の方々に説明して行って、まちづくりに対しての意見をもらいたいということだと思うんですけども、その中で一本釣りで行くのはかなり労力が要りますし、どこにどのような方がいるのかも分からないと思えます。

そこで提案といいますか、考えとして、倉見にはある程度組織立ったものがあると思えます。例えばですけど、消防団だったり、みこし、あとはおはやしだったとか、あとは旭小、旭が丘中学校でスポーツをしている野球、サッカーの団体であるとか、倉見スポーツ公園でも様々なスポーツが行われております。そこにはきっとお子さんたちの親御さんだったりとか、支援の方々とか、かなり大きなまとまりがあつて、組織立っている方がいると思えます。そういったところにお声かけをする中で、いろんな声を聞くほうが、今後はいろんな方にアプローチするにはいいのかなと私は思っておりますので、そういったところへ今後地権者に限らず声をかけていくのであれば、アンテナを伸ばして担当課として声をかけていく、そのような考えは今お持ちなのか、それとも既に行っているのか、その点についてお聞かせください。

【天利委員長】 川部主査。

【川部主査】 次世代層との意見交換、いろんな世代の方につきましては、前は地元で働いている方等との意見交換をさせていただきまして、次回以降につきましても、今度例えば子育て世帯とか、いろんな世代の方と行いながら、まちづくりの意見交換や未来を考えていただく機会というのを増やしていきたいなと思っている中で、そういったいろんな地元で活躍されている団体の方とも意見交換をしていきたいなというところは、町としても考えているところがございますが、いろんな各団体との接点が私ども町としてはなかなか見いだしてないところなので、そういったところをご紹介いただければ、お声かけをさせていただいて、やっていきたいなというところではございます。

以上です。

【天利委員長】 岸本委員。

【岸本委員】 各団体と接点を持って、今後地権者に限らずお声かけをしていきたいということですので、そういったところは担当課を中心に、寒川町役場の中にも倉見在住の方もいらっしゃると思えますし、最大限にそういった情報を拾い上げて広げていけるようにしていかないと、今まで眠っていたとか、止まっていたように見えてしまう倉見新幹線新駅誘致でございますので、早急にそういったところにアプローチできるように、今年度12月中に会合を開きたいということでございますので、今後中期、長期といいますか、短期といいますか、そういったところもしっかりとスケジュールを持ってアプローチするように心がけていただきたいと思いますと思えますけども、最後に何か一言あればお願いいたします。

【天利委員長】 臼井課長。

【臼井倉見拠点づくり課長】 ただいま貴重なご意見をいただきました。私どもも、今後倉見の皆様にお話を可能な限りいろいろな方にさせていただきたいと思っておりますので、ぜひともそういった団体の皆様と接点がもしおありでしたならば、ご紹介していただければ、お話の場を設けさせていただければと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

以上です。

【天利委員長】 他にございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 なければ、これをもって質疑を終結いたしたいと思います。ご苦労さまでございました。

暫時休憩といたします。

【天利委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

続きまして、案件2でございます。その他であります、委員の皆様から何かございますでしょうか。黒沢委員。

【黒沢委員】 委員長、確認をさせていただきたいんですが、これまで当委員会で研修会をやっている中で、柏の葉キャンパスタウンでしたっけ、そこのまちづくりを事例として、これから倉見のまちづくりをどう考えていくのかというところを研修していただいてきました。前回の研修会の終わりに、今年度はなかなか視察は無理だろうけれども、来年度については、ここに視察に行きましょうというお話があったかと思います。うちの会派の同僚の関口議員が、実は親戚がこの近くにいらっしゃって、実際に駅を見てきたときに、本当にすばらしい駅だったというお話をしていただいたので、できるだけ早い段階で見にいきたいと思うんですが、事務局に確認ですけど、視察の予算とかは取る予定でいらっしゃるのか、もし取られるとしたら、どういう形なのか、日帰りになるか、バスで行く感じになるんですかね。

【天利委員長】 大川局長。

【大川議会事務局長】 視察研修のお話なんですけれども、事務局の一緒に参加させていただいている担当からお話を伺っていて、一応令和4年度の予算に盛り込ませていただいて、今査定を受けている状況です。予算的にはバスの日帰り、あちらでお話が聞けるような予算も合わせてお願いしているようなところでもあります。よろしく願いいたします。

【天利委員長】 これについては、来年度に進めてまいりたいとは思っております、こちらから伺いたいのは山々なんです、受け手の態勢もございまして、今の状況では感染症がございまして、人数制限とか、そういったものも向こうから言われていると聞いておりますので、それがクリアにならないと、皆様とともに柏の葉キャンパスタウンに視察はできないという状況なので、もうしばらくお待ちいただきまして、コロナの感染が好転するということをお祈りしながら前に進めたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

そのほかに何かございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 こちらから研修会をさせていただきます、そのほかに第5回目というところを副委員長と考えておるんですが、視察がないと、なかなか実感が湧いてこないのではないかなというところで、机上の話ですと、皆さんの思いもなかなか伝わらない部分があるので、その辺を視察後にするのか、もう一回視察前にやったほうがいいのかということで、副委員長とお話をさせていただきたいと思っておりますので、時間が前回から空いてしまったところは大変申し訳なく思っておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

【天利委員長】 では、事務局は何かありますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 それでは、以上で全ての案件が終了いたしましたので、これをもちまして、東海道新幹線新駅対策特別委員会を終了させていただきます。

最後に副委員長から。

【山田副委員長】 活発なご意見ありがとうございました。

これをもちまして、東海道新幹線新駅対策特別委員会を終了します。お疲れさまでした。

午前9時35分 閉会

寒川町議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

令和4年2月22日

委員長 天利 薫